

祝 辞

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様が成長され今日のこの日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

そして、校長先生をはじめ、先生方にはこれまで温かく時に厳しく、根気よく導いて下さいましたことを感謝致します。

卒業生の皆さんにとって、篠ノ井高校で過ごした3年間は どうだったでしょう。

日々の学校生活の勉強や行事、部活動を通し、嬉しかったこと、辛かったこと、色々あったと思います。またそれぞれの機会の中で、多くの仲間と出会い、信頼し、時に人間関係で悩む、そんなこともあったかもしれません。ですが皆さんは今日この日を迎えることができました。とても素晴らしく、価値あることだと思います。

皆さんが誕生した時期は、ちょうど世の中が21世紀を迎えた頃です。百年に一度のタイミング。皆さんは新時代の象徴として、親や家族、親族から愛情を注がれてきました。また、親御さんは、期待や夢をもって迎えた21世紀という時代に、皆さんが誕生し大きな喜びを得て、日々の成長を見守りながら幸せを感じ過ごしてきたと思われまふ。

愛情を沢山注がれ、この篠ノ井高校を卒業される皆さんに人生の先輩でもあり、この学校のOBでもある私から一つアドバイスをしたいと思います。

それは「人の繋がり」です。今、皆さんはそれぞれの夢を持ち、それに向かってこの学校を旅立とうとしています。私は、その夢を大切にしたいと思ひます。夢に向かい努力することは、素晴らしいことです。大切なのは夢に向かって努力したものの挫折したときです。その時、その人が持つ人間力が発揮されると思うのです。それは挫折から立ち直ろうとする個人の強さ、そして、その人を支えようと手を差し出してくれる人がいるという人間関係からなると思ひます。人は良い時は意外と気が付かないのですが、少しでも落ち込んだ時に、周りから差し出された手のありがたみを知ります。これは日頃からの人との接し方に現れます。あなたはどんな人付き合いをしていますか？あなたには何かあったら手を差し出したい人はいますか？あなたが手を差し出してくれれば、あなたに何かあった時、必ず周りの人が手を差し出してくれる、そういう人間関係、人の繋がりを築いて欲しいと願ひます。

そうすれば皆さんも夢に向かって進むことができるのではないのでしょうか。簡単にいえば、これまで出会った人、これから出会う人、みんな何らかの形でこれからの皆さんに関わりを持つこととなります。だから良い人との繋がりを作ってくださいという願ひです。個人的にですが、私が、そのことを強く感じ一年過ごしましたので。

結びに、皆さんの旅立ちに祝辞を述べさせていただけること、ありがたく存じます。

皆さんは21世紀とともに生を受け、この篠ノ井高校の令和という新時代初の卒業生です。今年度、様々なことがあり、卒業式も特別な形になりました。ですが、時を経て集ったときに「色々あったね」と笑って話せるように成長をしてくれることを皆さんに期待させていただくとともに、心からの祝福を贈り、私からの挨拶とさせていただきます。

ご卒業 おめでとうございます。

令和2年3月 PTA会長 西澤史敏